

陳 情	受 理 番 号	40	受 理 年 月 日	令和3年12月10日	付 託 委員会	厚生経済
件 名	県内ブライダル業界に対する助成措置について					

件 名 県内ブライダル業界に対する助成措置について (陳情)

陳情の趣旨

1、今後、結婚式や披露宴を行なう際、当該者に対し一定の助成金を交付頂きたい。

2、既婚者でも、未挙式者が結婚式、披露宴を行なう際、当該者に対し一定の助成金を交付頂きたい。

3、ブライダル関連業界が新型コロナウイルス感染症対策のために行う設備投資に対し、一定の助成措置を講じて頂きたい。

4、披露宴開催にあたり、PCR 検査等新型コロナウイルス感染症にかかる費用や設備投資に対し、一定の助成措置を講じて頂きたい。

陳情の理由

貴職には、平素から市勢発展のためご尽力いただき、衷心より敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、1年以上続く新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染拡大の第5波が収束を見せているものの、未だ業界は回復の兆しが見えず、他の業界と同様にブライダル関連業界も経営危機に直面しています。

特に、当業界は商いの性質上接客を余儀なくされる職種で、三密になりやすい環境にあるため、昨年は予約の大方がキャンセルされ、以降、予約が激減した状態のまま1年以上が過ぎております。さらなる感染拡大の不安から新規顧客の申し込みは激減し、来春披露宴開催予定顧客の延期の相談が発生するなど緊急事態宣言が解除された現在でも回復の兆しが見えない状況に陥っています。

ご高承の通り、当業界は関連企業が多く、別紙を参照いただければお分かりのようにすそ野が広く、統計数字では県内の年間婚姻数は8,000組台で推移、そのためブライダル関連企業だけでも年間140億円以上の経済効果があるといわれ、当業界に付随する業種を含めると更なる経済効果を生み出しています。

去る2月には沖縄県知事にも陳情をおこないましたが、いまだ支援の手は行き届かず、廃業や事業縮小、従業員の解雇などがさらに加速している状況です。他県においては当該陳情と同様の支援や対策が始まっている自治体もございます。

何卒、当業界の窮状をご賢察頂き、政治及び行政のご配慮でもってGO TO ブライダル(仮称)という政策なりを創設し、下記事項を早急に実現くださいますよう陳情いたします。